製品の特長

性能

- 7050QX-32S：32x40GbEポートおよび4x10GbE
- 7050QX2-32S：32x40GbEポートおよび4x10GbE
- 最大2.56Tbpsのスイッチング容量
- 最大1.44Bppsのパケット処理能力
- ワイヤスピードのL2およびL3転送
- 最小レイテンシー：550ns

データセンター向けに最適化された設計

- 通常消費電力は40GbEポートあたり5Wで、運用コストを削減
- 電源効率は92%以上
- 1+1のホット・スワップ可能な冗長電源
- N+1のホット・スワップ可能な冗長ファン
- 前面吸気/背面排気または背面吸気/前面排気での冷却
- ツールレス・レールで設置が容易

クラウド・ネットワーキング対応

- VXLANおよびVM Tracer
- OpenFlow、DirectFlow、およびeAPI
- 288,000 MACエントリ
- 144,000 IPv4ルート
- 208,000 IPv4ホスト・ルート
- 最大16MBのバッファを動的に割り当て

耐障害性を備えたコントロール・プレーン

- 高性能なx86 CPU
- 最大8GBのDRAM
- 最大4GBのフラッシュ
- 仮想マシン内でユーザー・アプリケーションを実行可能

内蔵ソリッド・ステート・ストレージ

- ソリッド・ステート・ドライブ・オプション
- ログとデータ・キャプチャを保存する
- Linuxのツールで利用可能

高度なプロビジョニングとモニタリング

- CloudVision
- ゼロ・タッチ・プロビジョニング（ZTP）
- LANZによるマイクロバースト検出
- DANZの高度なミラーリングによる可視性の向上
- sFlow
- USBからの起動と復旧が可能

Aristaの拡張可能なオペレーティング・システム

- 単一のバイナリ・イメージで全製品に対応
- 完全にモジュール化されたネットワークOS
- ステートフル・フォールト・コンテインメント（SFC）
- ステートフル・フォールト・リペア（SFR）
- Linuxシェルやツールへのフル・アクセスを提供
- Bash,python,C++で拡張可能なプラットフォーム

概要

Arista 7050QXはArista 7050Xシリーズとして、アリスタネットワークスが提供するデータセンター向けスイッチです。Arista 7050Xシリーズは、データセンター向けに設計された10/40GbEデータセンター・スイッチで、ワイヤスピードのレイヤ2およびレイヤ3機能と、SDCN（Software Driven Cloud Networking）に対応する高度な機能を実装しています。

より高い帯域幅を使用するアプリケーションと組み合わせた10ギガビット イーサネットサーバーの採用の増加により、高密度の10および40ギガビット イーサネット スイッチの必要性が急速に増加しています。7050QXシリーズは、非常にコンパクトな筐体に10Gと40Gの柔軟な組み合わせで収容します。これによって、最新のデータセンターや、ハイ・パフォーマンス・コンピューティング、ビッグデータ環境に見られる水平型（East-West）トラフィック パターンに対応し、リーフとスパインからなる大規模なネットワークを設計することができます。

7050QXは、1RUの筐体に32個のQSFP＋ポートを搭載し、豊富な機能を備えつつレイヤ2およびレイヤ3においてワイヤスピードの性能を実現し、総スイッチング容量は、2.56 Tbpsです。 また柔軟な接続を可能とするために、32ポートのQSFP+を32x40GbEとして使用することも、また24ポートのQSFP+をそれぞれ4x10GbEとして使用して、96x10GbEおよび8x40GbEのスイッチとして使用するシステムを構成することもできます。Arista 7050QXスイッチは、カットスルーモードで550nsからの低遅延の転送を実現し、また、混雑しているポートに動的に割り当てられる共有パケットバッファープールを提供します。7050QXシリーズは、40GbEポートあたり5ワット未満の一般的な消費電力で、業界をリードする電力効率を提供します。オプションの内蔵SSDでは、高度なログ記録、データ・キャプチャなどのサービスをスイッチ上で直接サポートします。

7050QXシリーズは、Arista EOSと組み合わせによってビッグ・データ、クラウド、仮想化、また従来型ネットワーク向けの高度な機能を提供します。

Arista 7050QX-32S：32の40GbE QSFP+ポート、4つのSFP+ポート

Arista EOS

Arista 7050Xは、Arista全製品に共通のArista EOSソフトウェアが稼働しており、ネットワーク管理をよりシンプルにします。Arista EOSは、モジュール型ネットワークOSで、スイッチの状態管理をプロトコル処理やアプリケーション・ロジックから完全に分離する独自の状態共有アーキテクチャを採用しています。標準のLinuxカーネルを基盤として構築され、すべてのEOSプロセスは、独自の保護メモリ空間内で実行され、インメモリ・データベースを介して状態を交換します。このマルチプロセス状態共有アーキテクチャは、インサービス・ソフトウェアのアップデートおよび自己回復型の耐障害性を実現するための基盤となります。

Arista EOSにより、ゼロ・タッチ・プロビジョニング、VM Tracer、Linuxベースのツールなど、高度なモニタリングや自動化の機能を強力なx86 CPUサブシステムによってスイッチ上でネイティブに実行できます。

高可用性

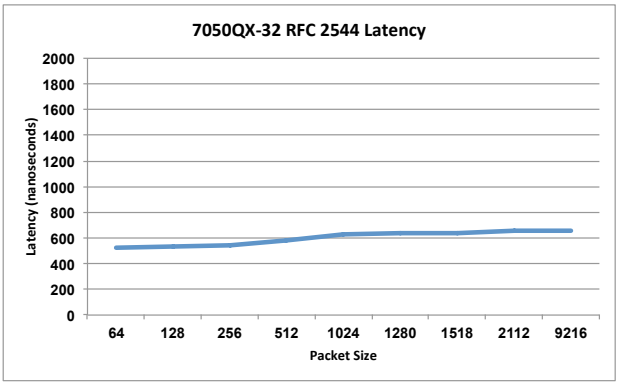
Arista 7050Xシリーズ・スイッチは、ソフトウェアとハードウェアの両面において、高い可用性を発揮できるように設計されています。高可用性に向けた主な機能は次のとおりです。

- 1+1冗長ホットスワップ可能な電源とN+1冗長のホットスワップ可能な4個のファン
- カラーコード付きのPSUとファン
- ライブ・ソフトウェア・パッチ
- ステートフル・フォールト・リペア（SFR）による自己回復ソフトウェア
- スマート・システム・アップグレード（SSU）とアクセラレーテッド・ソフトウェア・アップデート（ASU）
- リンク・アグリゲーション・グループ（LAG）あたり最大64の10GbEまたは40GbEポート
- マルチシャーシLAGによるアクティブ/アクティブL2マルチパス
- 最大128-way ECMPルーティングによる負荷分散と冗長性

1RU筐体のArista 7050QXの背面：
前面から背面（赤）および背面から前面（青）のエアフロー

動的バッファ割り当て

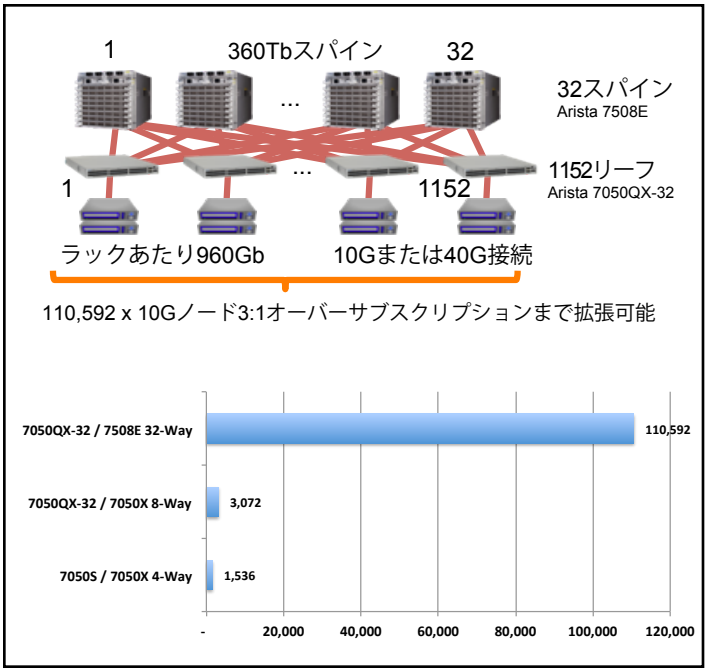
Arista 7050QXスイッチは、カットスルー・モードにおいて550～650ns遅延でパケットを転送します。輻輳時には、12MBの共通パケット・メモリにパケットがバッファリングされます。ポートごとのパケットメモリが固定されている他のアーキテクチャとは異なり、7050QXシリーズは動的バッファ割り当て（DBA）によって、最大6.7MBのパケットメモリを単一のポートに割り当て、パケットロスのない転送を実現します。7050QX2-32Sには、より要求の厳しい環境向けに最適化された16Mbyteのバッファがあります。



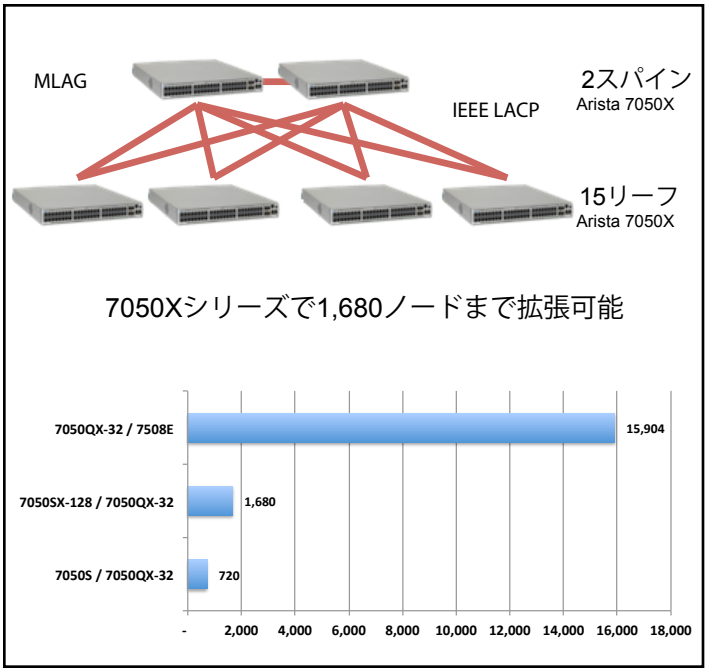
Arista 7050QX：QSFP+ポートを介した遅延

データセンターの性能のスケーリング

Arista 7050QXシリーズは、レイヤ2およびレイヤ3におけるラインレート・スイッチングを実現することで、データセンターのネットワーク設計を高速化および簡素化し、ネットワークの導入コストと運用コストを大幅に削減します。Arista 7000シリーズのボックス型スイッチやモジュール型スイッチを併用することにより11万台を超える10Gサーバを収容する規模までネットワークを拡張することができます。L2/L3マルチパス設計に柔軟な選択肢を提供し、オープン規格のサポートにより、最大限の柔軟性、スケーラビリティ、およびネットワーク全体の仮想化を実現できます。Arista EOSの高度な機能は、一元化された管理による制御と可視化を可能にします。



L3 ECMPを使用したAristaリーフスパイン設計



L2 MLAGを使用したAristaリーフスパイン設計

7050QXシリーズのAristaリーフスパイン2層ネットワークアーキテクチャ

スケールアウトするネットワーク設計に向けた最大限の柔軟性

スケールアウトを考慮したネットワーク設計することでまずは、小規模なソリューションを構築し、時間とともにそれを拡張させていくことが可能になります。シンプルな双方向設計は、アーキテクチャを大幅に変更することなく64-wayまで拡張できます。Arista 7050QXには、柔軟なスケールアウト設計を可能にする拡張機能が含まれています:

- 最大128-way ECMPおよび64-way MLAGは、スケーラブルな設計を提供し、大規模な2階層リーフ・スパイン設計でトラフィックを均等に分散。
- トンネル・プロトコルの効率的なハッシュ、永続的なハッシュ、およびカスタム・ルックアップのためのカスタム・ハッシュ・アルゴリズム。
- L2およびL3の転送テーブル・リソースの柔軟な割り当てにより、設計の選択肢を拡大
- 高密度な10G/40Gポートにおいて、各ポートでマルチスピードの柔軟性を実現。
- 物理から仮想化への通信のためのVXLANルーティング、ブリッジング、およびゲートウェイを使用することで、次世代のデータセンター設計が可能
- DANZ、sFlow、およびマルチ・ポート・ミラーリングにより、マイクロ・バーストの輻輳を検出し、ネットワーク全体の可視性と監視を提供

Software Defined Networking

Arista Software Defined Cloud Networking（SDCN）は、クラウド・コンピューティングの普及の原動力でもある、自動化、セルフサービス・プロビジョニング、およびパフォーマンスと経済性のリニア・スケーリングを実現しつつ、ネットワーク仮想化、カスタムなプログラム性、シンプルなアーキテクチャの低い導入コストを実現するといったSoftware Defined Networkingのトレンドを兼ね備えています。これにより企業とサービス・プロバイダーの両方のデータセンターに対し、ネットワークの価値を最大限に高める業界最高水準のソフトウェア基盤を構築します。ITインフラ内の最もミッション・クリティカルな場所を対象とする新しいアーキテクチャは、制御と可視化の機能をネットワークおよびシステム管理者に提供し、管理とプロビジョニングの簡素化、サービス提供の迅速化、コストを削減して、サービスの競争力を高める機会を創出します。

スマート・システム・アップグレード

スマート・システム・アップグレードは、ネットワーク・アプリケーションの1種で、データセンター管理者が直面する最も複雑で困難なタスクの1つ、ネットワーク・インフラ・メンテナンスに対処するよう設計されています。基礎をなすネットワーク・インフラに変更を加えると、多数のデバイスに影響を及ぼし、重大なシステム停止を引き起こす場合があります。SSUは、データセンター・インフラストラクチャをテクノロジー・パートナーに緊密に結合する完全にカスタマイズ可能な機能スイートを提供し、インテリジェントな挿入と削除、ソフトウェア・リリースのプログラム可能な更新、アプリケーションおよびインフラストラクチャ要素とのオープンな統合を可能にします。

アドバンスト・イベント・マネジメント（AEM）

運用全体を簡素化するため、AEMではアラートやアクションをカスタマイズするツールが提供されます。AEMはタスクを自動化し、EOSの動作とデータセンターのスイッチング・インフラ全体の運用をカスタマイズする強力で柔軟性に優れたツールセットです。AEMによって、オペレーターはEOS内のインテリジェンスをフル活用して、リアルタイムのイベントへの対応、日常的なタスクの自動化、および変化するネットワーク状況に基づくアクションの自動化を行うことができます。

高性能ネットワーク向けの高度な機能

Arista 7050QXには、高度なトラフィック制御機能とモニタリング機能があり、データ・モニタリング、および次世代仮想化のソリューションを使用して、最新の高性能環境の俊敏性を向上できます。

高精度のデータ分析

Aristaレイテンシー・アナライザ（LANZ）は、EOSの統合機能です。LANZは、マイクロバーストや輻輳の発生を、アプリケーションに影響が出る前に高精度でリアルタイムにモニタリングできます。また、発生源を特定し、影響を受けたトラフィックをキャプチャして分析することができます。

仮想化

次世代の仮想化データセンターをサポートするには、オーケストレーション・ツールや、VXLANなどの新たなカプセル化テクノロジとの緊密な統合が必要です。7050QXは、Arista VM Tracerスイートですでに提供されている価値の高いツールをベースにして、カプセル化環境に直接統合できます。VXLANと従来のL2/3環境の間にワイヤスピードのゲートウェイを提供することで、7050Xはサーバ、ファイアウォール、ロード・バランサーなどのVXLAN非対応のデバイスをシームレスに統合し、VXLANをMPLS以外の環境に対する標準ベースのL2拡張テクノロジとして活用できるようにします。

統合転送テーブル

クラウド・ネットワークのスケーラビリティは、スイッチ転送テーブルのサイズによって直接影響を受けます。多くのシステムでは、一般的な種類の転送エントリごとに個別の固定サイズ・テーブルを使用して、「すべてに適合する」アプローチが採用されています。Arista 7050Xは、エントリ・タイプごとにパーティション化できるL2 MAC、L3ルーティング、L3ホスト、およびIPマルチキャスト転送エントリの共通の統合転送テーブルを活用します。各パーティションの理想的なサイズは、ネットワーク展開シナリオによって異なります。UFTの柔軟性と7050Xで利用可能な一連の事前定義された構成プロファイルにより、すべてのネットワーク・トポロジおよびネットワーク仮想化テクノロジーに対する最適なリソース割り当てが保証されます。

レイヤ2機能

- 802.1w Rapid Spanning Tree
- 802.1s Multiple Spanning Tree Protocol
- Rapid Per VLAN Spanning Tree（RPVST+）
- 4096 VLAN
- Q-in-Q
- 802.3adリンク・アグリゲーション/LACP
  - 64ポート/チャネル
  - 104グループ/システム
- マルチ・シャーシ・リンク・アグリゲーション（MLAG）
  - MLAGごとに64ポート
- カスタムLAGハッシュ
- 802.1AB Link Layer Discovery Protocol
- 802.3xフロー制御
- ジャンボ・フレーム（9216バイト）
- IGMP v1/v2/v3スヌーピング
- ストーム制御
- RAIL

レイヤ3機能

- ルーティング・プロトコル：OSPF、OSPFv3、BGP、MP-BGP、IS-IS、RIPv2
- 64wayの等価コスト・マルチパス・ルーティング（ECMP）[2]
- 耐障害性を備えたECMPルート
- VRF
- BFD
- ルート・マップ
- IGMP v2/v3
- PIM-SM / PIM-SSM / PIM-BIDIR
- Anycast RP（RFC 4610）
- VRRP
- 仮想ARP（VARP）
- ポリシー・ベース・ルーティング
- uRPF
- 選択的なルートのダウンロード

高度なモニタリングとプロビジョニング

- ゼロ・タッチ・プロビジョニング（ZTP）
- レイテンシー・アナライザとマイクロバースト検出（LANZ）
  - 設定可能な輻輳通知（CLI、Syslog）
  - イベントのストリーミング（GPBエンコード）*
  - 輻輳トラフィックのキャプチャ/ミラーリング*
- 高度なモニタリング
  - ポート・ミラーリング（4つのアクティブなセッション）
  - ミラー・セッションでのL2/3/4フィルタリング
  - EOS/SSDへのミラー
- アドバンスト・イベント・マネジメント（AEM）スイート
  - CLIスケジューラ
  - イベント・マネージャ
  - イベント・モニター
  - Linuxツール
- オプションのSSDによるログ記録とデータ・キャプチャ
- TCPDumpによる統合パケット・キャプチャ/分析
- RFC 3176 sFlow
- USBからの復元と設定
- 青いビーコンLEDによるシステム認識
- Software Defined Networking（SDN）
  - Openflow 1.0 [1]
  - Openflow 1.3 [1]
  - Arista DirectFlow
  - eAPI
  - OpenStack Neutronのサポート
- IEEE 1588 PTP（透過的なクロックおよび境界クロック）

仮想化のサポート

- VXLANルーティングとブリッジング
- VM TracerによるVMware統合
  - VMware vSphereのサポート
  - VM自動検出
  - VM適応セグメンテーション
  - VMホストビュー

セキュリティ機能

- L2、L3、L4フィールドを使用したIPv4/IPv6イングレス＆イグレスACL
- MAC ACL
- ACLドロップ・ロギングとACLカウンター
- コントロール・プレーン保護（CPP）
- PDP
- サービスACL
- DHCPリレー/スヌーピング
- MACセキュリティ
- TACACS+
- RADIUS

QoS（Quality of Service）機能

- ポートごとに最大8個のキュー
- 802.1pベースの分類
- DSCPベースの分類とリマーキング
- Explicit Congestion Notification（ECN）
- QoSインターフェイスの信頼（COS / DSCP）
- 厳密な優先キューイング
- 重み付きラウンド・ロビン（WRR）スケジューリング
- Per-Priority Flow Control（PFC）
- データセンター・ブリッジング拡張（DCBX）
- 802.1Qaz Enhanced Transmissions Selection（ETS）*
- ACLベースのDSCPマーキング
- ACLベースのポリシング
- ポリシング/シェーピング
- レート制限
- オーディオ・ビデオ・ブリッジング（AVB）*

*現在EOSではサポートされていません。
補足1 7050QX2-32Sではサポートされていません
補足2 7050QX2-32Sでの最大128-way ECMP
補足3 7050QX2-32Sでは現在サポートされていません

ネットワーク管理

- CloudVision
- 10/100/1000管理ポート
- RS-232シリアル・コンソール・ポート
- USBポート
- SNMP v1、v2、v3
- IPv6経由の管理
- TelnetとSSHv2
- Syslog
- AAA
- 業界標準のCLI
- アクセラレーテッド・ソフトウェア・アップグレード（ASU）[3]

拡張性

- Linuxツール
  - Bashシェル・アクセスとスクリプティング
  - RPMサポート
  - カスタムのカーネル・モジュール
- プログラムによるシステム状態へのアクセス
  - Python
  - C++
- KVM/QEMUのネイティブ・サポート

準拠規格

- 802.1D Bridging and Spanning Tree
- 802.1p QOS/COS
- 802.1Q VLANタギング
- 802.1w Rapid Spanning Tree
- 802.1s Multiple Spanning Tree Protocol
- 802.1AB Link Layer Discovery Protocol
- 802.3ad LACPによるリンク・アグリゲーション
- 802.3ab 1000BASE-T
- 802.3zギガビット・イーサネット
- 802.3ae 10ギガビット・イーサネット
- 802.3ba 40ギガビット・イーサネット
- RFC 2460インターネット・プロトコル、バージョン6（IPv6）仕様
- RFC 4861 IPバージョン6（IPv6）の近隣探索
- RFC 4862 IPv6ステートレス・アドレス自動構成
- インターネット・プロトコル・バージョン6（IPv6）仕様のRFC 4443インターネット制御メッセージ・プロトコル（ICMPv6）

SNMP MIB

- RFC 3635 EtherLike-MIB
- RFC 3418 SNMPv2-MIB
- RFC 2863 IF-MIB
- RFC 2864 IF-INVERTED-STACK-MIB
- RFC 2096 IP-FORWARD-MIB
- RFC 4363 Q-BRIDGE-MIB
- RFC 4188 BRIDGE-MIB
- RFC 2013 UDP-MIB
- RFC 2012 TCP-MIB
- RFC 2011 IP-MIB
- RFC 2790 HOST-RESOURCES-MIB
- RFC 3636 MAU-MIB
- RMON-MIB
- RMON2-MIB
- HC-RMON-MIB
- LLDP-MIB
- LLDP-EXT-DOT1-MIB
- LLDP-EXT-DOT3-MIB
- ENTITY-MIB
- ENTITY-SENSOR-MIB
- ENTITY-STATE-MIB
- ARISTA-ACL-MIB
- ARISTA-QUEUE-MIB
- RFC 4273 BGP4-MIB
- RFC 4750 OSPF-MIB
- ARISTA-CONFIG-MAN-MIB
- ARISTA-REDUNDANCY-MIB
- RFC 2787 VRRPv2-MIB
- MSDP-MIB
- PIM-MIB
- IGMP-MIB
- IPMROUTE-STD-MIB
- SNMP Authentication Failureトラップ
- ENTITY-SENSOR-MIBのサポートによるDOM（Digital Optical Monitoring）
- ユーザー設定可能なカスタムのOID

MIBの最新のサポート状況については、EOSリリース・ノートを参照してください。

システム・リソース	7050Xシリーズ	7050X2シリーズ
STPインスタンス	64（MST）/510（RPVST+）	
IGMPグループ	288,000（ユニークなグループは8,000）	
ACL	4,000	11,000[1]
イグレスACL	1,000	756
ECMP	64-way、1,000グループ	128-way、2,000グループ

転送リソース	基本モード	UFTモード[2]
MACアドレス	32,000	288,000
IPv4ホスト	16,000	208,000
IPv4ルート - ユニキャスト	16,000	144,000
IPv4ルート - マルチキャスト	16,000	104,000 *
IPv6ホスト	16,000	104,000
IPv6ルート - ユニキャスト	8,000	77,000 *
IPv6ルート - マルチキャスト	4,000	52,000 *

1. VLAN IDがキーとして使用されていない場合は11,000、VLANがキーとして使用されている場合は5,500
2. 場合によっては共有リソースに依存する最大値

仕様

	7050QX-32S	7050QX2-32S
ポート	32 x QSFP+ 4 x SFP+	32 x QSFP+ 4 x SFP+
40GbEの最大ポート数	32 x QSFP+	32 x QSFP+
10GbEの最大ポート数	96	96
1GbEの最大ポート数	4	4
スループット	2.56 Tbps	
パケット/秒	1440 Mpps	
レイテンシー	550 ns	
CPU	クアッドコアx86	クアッドコアx86
システム・メモリ	4 GB	8 GB
フラッシュ・ストレージ・メモリ	4 GB	4 GB
パケット・バッファ・メモリ	12MB（動的バッファ割り当て）	16MB
SSDストレージ（オプション）	120 GB	120 GB
10/100/1000管理ポート	1	
RS-232シリアル・ポート	1（RJ-45）	
USBポート	1	
ホットスワップ可能な電源	2（1+1の冗長性）	
ホットスワップ可能なファン	4（N+1の冗長性）	
反転可能なエアフロー・オプション	有	
通常/最大消費電力*	150W /302W	129W /283W
サイズ（幅x高さx奥行）	19 x 1.75 x 16インチ (48.3x 4.4x 40.64cm)	
重量	20ポンド（9.1kg）	20ポンド（9.1kg）
EOS機能のライセンス	グループ 2	グループ 2
最小EOSバージョン	4.14.0	4.18.0

* 通常消費電力は、25C環境で50%の負荷で測定
補足 平均パケット数が200バイトを超える場合の動作のパフォーマンス評価。

電源仕様

スイッチ・モデル	7050QX-32S / 7050QX2-32S	
電源モデル	PWR-500AC	PWR-500-DC
入力電圧	100～240VAC	40～72V DC
通常入力電流	6.3～2.2A	13.1～7.3A -48Vで11A
入力周波数	50/60Hz	DC
入力コネクタ	IEC 320-C13	AWG #16～12
効率（通常）	93%プラチナ	-

サポートされている光ファイバーとケーブル

インターフェイスの種類	QSFP+ポート
10GBASE-CR	QSFP+から4x SFP+：0.5m～5m
40GBASE-CR4	0.5mから5m QSFP+からQSFP+
40GBASE-AOC	3m～100m
40GBASE-UNIV	150m（OM3）/150m（OM4）/500m（SM）
40GBASE-SRBD	100m（OM3）/150m（OM4）
40GBASE-SR4	100m（OM3）/150m（OM4）
40GBASE-XSR4	300m（OM3）/400m（OM4）
40GBASE-PLRL4	1km（1km 4x10G LR/LRL）
40GBASE-LRL4	1km
40GBASE-PLR4	10km（10km 4x10G LR/LRL）
40GBASE-LR4	10km
40GBASE-ER4	40km

インターフェイスの種類	SFP+ポート
10GBASE-CR	SFP+からSFP+：0.5m～5m
10GBASE-AOC	SFP+からSFP+：3m～30m
10GBASE-SRL	100m（OM3）/150m（OM4）
10GBASE-SR	300m（OM3）/400m（OM4）
10GBASE-LRL	1km
10GBASE-LR	10km
10GBASE-ER	40km
10GBASE-ZR	80km
10GBASE-DWDM	80km
100/1000BASE-T、1GbE SX/LX	有

環境的特性

動作温度	0～40°C（32～104°F）
保管温度	-40～70°C（-40～158°F）
相対湿度	5～95%
動作高度	0～10,000フィート（0～3,000m）

準拠規格

EMC	エミッション：FCC、EN55022、EN61000-3-2、EN61000-3-3またはEN61000-3-11、EN61000-3-12（該当する場合） イミュニティ：EN55024 エミッションとイミュニティ：EN300 386
安全性	UL/CSA 60950-1、EN 60950-1、IEC 60950-1 CBスキームおよび各国の個別要求事項
認証	北米（NRTL） 欧州連合（EU） BSMI（台湾） C-Tick（オーストラリア） CCC（中国） MSIP（韓国） EAC（関税同盟） VCCI（日本）
欧州連合指令	2006/95/EC低電圧指令 2004/108/EC EMC指令 2011/65/EU RoHS指令 2012/19/EU WEEE指令

発注情報

製品番号	製品説明
DCS-7050QX2-32S-F	Arista 7050X2、32xQSFP+および4xSFP+スイッチ、前面吸気/背面排気、デュアル500W AC電源
DCS-7050QX2-32S-R	Arista 7050X2、32xQSFP+および4xSFP+スイッチ、背面吸気/前面排気、デュアル500W AC電源
DCS-7050QX2-32S#	Arista 7050X2、32xQSFP+および4xSFP+スイッチ、ファンなし、PSUなし（ファンとPSUが必要）
DCS-7050QX-32S-F	Arista 7050X、32xQSFP+および4xSFP+スイッチ、前面吸気/背面排気、デュアル500W AC電源
DCS-7050QX-32S-R	Arista 7050X、32xQSFP+および4xSFP+スイッチ、背面吸気/前面排気、デュアル500W AC電源
DCS-7050QX-32S#	Arista 7050X、32xQSFP+および4xSFP+スイッチ、ファンなし、PSUなし（ファンとPSUが必要）
DCS-7050QX-32S-D#	Arista 7050X、32xQSFP+および4xSFP+スイッチ、SSD、ファンなし、PSUなし（ファンとPSUが必要）
LIC-FIX-2-E	40～132個の10GポートArista固定スイッチ用の拡張L3ライセンス（BGP、OSPF、ISIS、PIM、NAT）
LIC-FIX-2-V	40～132個の10GポートArista固定スイッチ用の仮想化ライセンス（VM TracerおよびVXLAN）
LIC-FIX-2-V2	Arista グループ2固定スイッチのEOS拡張、セキュリティおよびパートナー統合ライセンス
LIC-FIX-2-Z	40～132個の10GポートArista固定スイッチ用のモニタリングおよびプロビジョニング・ライセンス（ZTP、LANZ、TapAgg、OpenFlow）
LIC-FIX-2-FLX-L	Arista固定スイッチグループ2のFLX-Liteライセンス - 最大256,000ルートのフルルーティング、EVPN、VXLAN、SR、ベースMPLS LSR（TEまたはリンク/ノード保護なし）

スペア・オプション

FAN-7000-F	Arista 7150、7124SX（FX）、7050、および7048-Aスイッチ用のスペア・ファン・モジュール（前面吸気/背面排気）
FAN-7000-R	Arista 7150、7124SX（FX）、7050、および7048-Aスイッチ用のスペア・ファン・モジュール（背面吸気/前面排気）
PWR-500AC-F	Arista 7050Xおよび7280スイッチ用の500WスペアAC電源（前面吸気/背面排気）
PWR-500AC-R	Arista 7050Xおよび7280スイッチ用の500WスペアAC電源（背面吸気/前面排気）
PWR-500-DC-F	Arista 7050Xおよび7280スイッチ用の500WスペアDC電源（前面吸気/背面排気）
PWR-500-DC-R	Arista 7050Xおよび7280スイッチ用の500WスペアDC電源（背面吸気/前面排気）
KIT-7001	ツールレスのレールを備えたArista 1RUスイッチ用のスペア・アクセサリ・キット
KIT-2POST-1U-NT	Arista 1RUツールレス・システム（7050QX-32S、7050SX/TX、および7280）用の1RU 2ポストのスペア・レール・キット
KIT-4POST-NT	4ポストの据え付け（7280、7250QX、7050SX/TX、7050QX-32S）用の1RU/2RUのスペア・ツールレス・レール・キット

保証

Arista 7050スイッチは、1年間の制限付きハードウェア保証の対象で、製品を受領してから10営業日以内の部品提供、修理、または交換を保証します。

サービスおよびサポート

翌営業日と4時間以内のアドバンス・ハードウェア交換を含むサポート・サービスをご利用いただけます。サービス拠点については、次のサイトを参照してください：http://www.arista.com/en/service

アリスタネットワークスジャパン合同会社

〒170-6045 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 45F
Tel:03-5979-2012(代表)

西日本営業本部
〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー19 階
Tel: 06-6133-5681

お問い合わせ先
japan-sales@arista.com

Copyright 2019 Arista Networks, Inc.本書に記載されている情報は予告なく変更される場合があります。Arista、Aristaのロゴ、およびEOSは、Arista Networksの商標です。その他の製品名またはサービス名は、他社の商標またはサービス商標である可能性があります。

www.arista.com/jp

ARISTA

2019年1月18日　03-0006-07